

肝細胞癌動注化学療法スケジュール表

健和会大手町病院外科

No.1

患者氏名		歳	ID	担当医師
			身長	cm
			体重	kg

肝細胞癌動注化学療法 **肝動注リザーバー Low dose FP療法** 適応外: Child Pugh 分類 C 症例

ヘパフラッシュ 動注 ヘパフラッシュ 動注後抜針

← 30分 → ← 5時間 →

CDDP 10 mg
ツルースにて持続動注

5-FU 250 mg
インフューザポンプで持続動注

← ベッド上安静 → 制限なし

連日5日/週 × 2週 + 1週休薬 → 2セット(20回動注)で1コース

隔日3回/週 × 3週 + 1週休薬 → 2セット(18回動注)で1コース

※抗腫瘍効果が得られれば2~4週休薬して繰り返す

化学療法開始日 年 月 日 予定回数 コース

注射投与経路 右大腿動脈リザーバーポート 左肘動脈リザーバーポート

薬剤	投与法	月/日								
		1	2	3	4	5	6	7	8	9
		／	／	／	／	／	／	／	／	／
①	グラニセトロン 1mg + デキサート 6.6mg	30分 点滴静注	<input type="checkbox"/> 入院 <input type="checkbox"/> 外来							
②	ソルデム 3A 500ml ペラブリン2A	5時間 点滴静注	<input type="checkbox"/> 入院 <input type="checkbox"/> 外来							
①'	CDDP 10 mg / 20ml (40ml / hr)	30分 持続動注	<input type="checkbox"/> 入院 <input type="checkbox"/> 外来							
②'	5-FU 250 mg インフューザポンプ	①' 終了 5時間 持続動注	<input type="checkbox"/> 入院 <input type="checkbox"/> 外来							

同意書作成

担当看護師

薬剤部

抗がん剤治療を受けられる方へ

<化学療法治療計画書および同意書>

様

健和会大手町病院外科・消化器科

肝細胞癌の治療に対して貴方の受けられる治療は、**肝動注FP療法**です

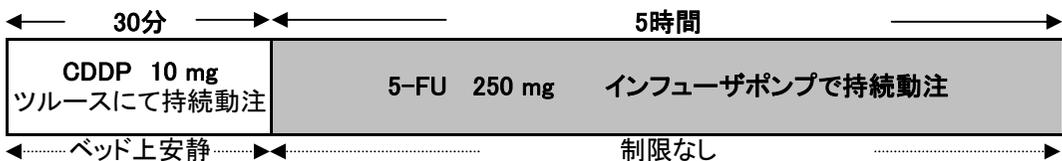
◎抗がん剤注射の前に吐き気を押さえる点滴をします

- ①グラニセトロン(制吐剤) + デカドロン(ステロイド) + 生食100 30分点滴
② ソルデム3A 500ml + ペラプリン2A 5時間点滴

◎この治療に使われる抗がん剤(肝動注用リザーバーポートから投与)

- ①シスプラチン CDDP 専用のシリンジポンプで30分間持続動注
②5-FU 専用のインフューザポンプより持続動注

◎抗がん剤投与スケジュール(1日分)



- 連日5日/週 × 2週 + 1週休薬 → 2セット(20回動注)で1コース
 隔日3回/週 × 3週 + 1週休薬 → 2セット(18回動注)で1コース

※抗腫瘍効果が得られれば2~4週休薬して繰り返します

◎この治療を コース行う予定です。

◎主な副作用

1. 骨髄抑制(白血球減少、好中球減少)
2. 悪心・嘔吐
3. 食欲不振
4. 腎機能障害
5. 肝機能障害

※副作用症状が軽度の場合は、十分な注意の上治療を継続いたします。

※副作用が強く急激な変化を認めた場合は、中止もしくは延期いたします。

説明日 年 月 日

説明医師 _____ 担当看護師 _____

この抗がん剤治療に関する必要性、スケジュール内容、副作用を十分理解の上、治療を受けることに同意いたします。

同意日 年 月 日

患者様氏名 _____